

平成31年度使用中学校の教科用図書
選定委員会報告書

平成30年7月

平成 3 1 年度使用中学校教科用図書
選 定 委 員 会 報 告 書

教 科 (特別の教科) 種 目 (道 徳)

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>いじめや情報モラルなど現代的な課題に関わる教材が充実しており、具体的な課題や多様な意見に触れながら、自分のこととして考えることができるような様々な構成上の工夫がある。また、全体を通して、生徒が多様な考え方や他の生徒の感じ方に接する中で、よりよく生きていくための考えを深める学習となるよう、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習に取り組む内容が示されているなど創意工夫が随所になされている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
11・学図	<p>教材と「心の扉」により道徳的価値の理解が図られるように工夫されている。どの教材においても「学びに向かうために」の活動が3段階で提示されているため、授業の流れを構成しやすく、対話的な学びになるよう工夫されている。学びを記録する欄があり、ふりかえりをするができる。しかしながら、一部の役割演技に関する活動は生徒にとってイメージがわきにくいものもある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>最初に、道徳では何を学ぶか、どのように学習したらよいのかが分かりやすくまとめられ、学びの手引きになっている。教材は、読み物から生徒作文、新聞記事、漫画など様々な素材のものがあり、興味・関心を持たせやすいもの選ばれている。「学びの道しるべ」として学習の流れが示されており、授業の展開がわかりやすい。ただし、役割演技を行う場面もあるが、一部の教材で活動すること自体が目的になってしまわないよう配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
38・光村	<p>教材の出典が、著名人の著した文章や歌詞など、生徒にとって興味関心を引くものが多く、意欲的に教材に向き合うことができる。教材ごとに、「学びのテーマ」として展開の仕方が統一され、構造化されているので授業しやすい。また、「見方を変えて」として立場の違う視点から考えられるよう工夫されている。一方で分量が多い教材もあり、読み取りに時間がかかってしまう可能性があり、工夫や配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

1 1 6 ・ 日 文	<p>生徒が道徳的価値を深く考えることができる教材が選定されている。また、多様な学習方法等が充実しており、対話を通して、多面的・多角的な考えを引き出す工夫が随所に見られる。家庭でも道徳ノートを活用するなどの創意工夫があり、連携・協力を得ながら進めていくことができるようになっている。ただ、道徳ノートに発問が示されていることで、授業の展開等が限定されてしまう可能性がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
2 2 4 ・ 学 研	<p>情報モラルやキャリア教育など、現代的課題に対する教材が充実している。ユニット教材として、さまざまな視点から1つのテーマに向けて学習が進められるように工夫されているが、「深めよう」のページでは、自分の考えを表しにくいものもある。結末や問いにオープンエンドなものが多く、生徒が自分のこととして考える工夫がされているが、テーマに焦点化させる指導の工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
2 3 2 ・ 廣あかつき	<p>最初に道徳の時間とは何をする時間かがまとめられている。心を打つ読み物が多く、イラストや写真が多く入っているが、全体的に読み物資料の分量が多いため、読解が苦手な生徒への配慮が必要となる。考え、話し合うための学習の手がかりが教材ごとに示されており、授業の展開はしやすいが、流れが限定されてしまう可能性があるため、多様な意見を出させるための工夫が必要となってくる。また、ノートについても複数の内容項目でまとめられており、限られた授業時間の中で活用しづらいと考えられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
2 3 3 ・ 日 科	<p>教科書の中に記述スペースがあまり設けられていないので、書く活動よりも話し合う活動を重視した教科書であると思われる。教材ごとのテーマや身につけたい力が明示されていないので、授業者がねらいをはっきりともつことが必要になる。内容項目ごとに教材がまとめられているため、授業者にとっては道徳的価値の深化を目指した事前の計画が必要であり、使用難易度の高い教科書でもあると考えられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>